

(参考)
(様式3-1)記入例

事業計画書

1. 応募事業名

(1)馬事普及特別対策事業

2. 事業の目的

3. 事業の内容

第1回	地区名	北海道	地区名	北海道	地区名	
	市町村名	札幌市	市町村名	函館市	市町村名	
	開催期日	H25年6月1日～H25年6月2日	開催期日	H25年7月1日	開催期日	年 月 日～年 月 日
	参集人員(予定)	10,000人(昨年度競馬場来場者)	参集人員(予定)	5,000人(昨年度競馬場来場者)	参集人員(予定)	人
	対象者	一般市民	対象者	一般市民	対象者	
	内容		内容		内容	
	ばんえい競馬をPRするために、札幌競馬場にて、ポニー馬車の体験試乗を行うとともに、軌系種による馬車の体験試乗を行う。		ばんえい競馬をPRするために、函館競馬場にて、ポニー馬車の体験試乗を行うとともに、軌系種による馬車の体験試乗を行う。			

注意事項の②に基づいて記入

注意事項の③に基づいて記入

注意事項の①に基づいて記入

注意事項の④に基づいて1/2を乗じた金額を記入

4. 事業に係る経費(記入例)

費目	第1回			第2回			第3回			助成事業に 要する経費 (円)	助成事業 対象費 (円)	助成金額 (円)	備考	
	員数	単価 (円)	金額 (円)	員数	単価 (円)	金額 (円)	員数	単価 (円)	金額 (円)					
馬借上料	6	20,000	120,000	2	20,000	40,000				160,000	86,400	43,200	第1回 3頭×2日=6頭 第2回 2頭×1日=2頭	
馬輸送費	1	10,000	10,000	1	20,000	20,000				30,000	30,000	15,000	第1回 200km×50円=10,000円 第2回 400km×50円=20,000円	
諸謝金 (指導員)	2	10,000	20,000	1	10,000	10,000				30,000	24,300	12,150	第1回 1人×2日=2人 第2回 1人×1日=1人	
会場借上料	2	20,000	40,000	1	20,000	20,000				60,000	60,000	30,000	第1回 1ヶ所×2日=2日 第2回 1ヶ所×1日=1日	
会場設営費														
旅費														
アルバイト賃金	4	10,000	40,000	2	10,000	10,000				50,000	43,920	21,960	第1回 2人×2日=4人 第2回 1人×2日=2人	
印刷費														
通信運搬費														
消耗品費														
合計			230,000			100,000				330,000	244,620	122,000	助成金額の合計については、103,550円の千円未満を切り捨てた金額を記載した。	

馬輸送費、会場借上料及び会場設営費については、原則として1万円を超える支出がある場合、見積書を徴収し提出すること。ただし、事業実施主体等で規程により単価が定められている場合はこの限りでない。

旅費の積算については、事業実施主体で旅費規程を定めていない場合は、農業協同組合又は農業協同組合連合会の規程を使用しても構わない

(記載上の注意事項)

①各回の単価及び金額については、実際にかかる(かかった)経費を記入すること。

②助成事業に要する経費については、各回の金額を合計した額を記入すること。

③助成事業対象費については、馬事普及啓蒙推進事業実施要領の別表2に定める金額の単価を使用し記入すること。(例:馬借上料@10,800円×4頭=43,200円)

④助成金額については、助成事業対象費に1/2を乗じた金額を記入し、合計欄は、千円未満を全て切り捨てた金額を記入すること。

注意事項の④に基づいて千円未満を切り捨てた金額を記入

(参考)
(様式3-2)記入例

事業計画書

1. 応募事業名

(2)優良農用馬生産振興対策事業

2. 事業の目的

3. 事業の内容

第1回	地区名	北海道	第2回	地区名	熊本県	第3回	地区名	北海道
	市町村名	〇〇市		市町村名	〇〇市		市町村名	〇〇市
	開催期日	H25年6月1日～H25年6月2日		開催期日	H25年7月1日～H25年7月2日		開催期日	H25年8月1日
	参集人員	5人		参集人員	5人		参集人員	30人
	対象者	青年部員		対象者	青年部員		対象者	青年部員
	内容		内容		内容			
	成績優秀なばんえい馬を多数輩出している、〇〇市にある〇〇牧場にて、馬の生産及び管理状況を学び、今後の生産活動に生かせるよう、現地研修会を開催する。		馬肉の販売及び流通の大手牧場である、〇〇牧場にて、肥育方法等を学び、今後の生産活動に生かせるよう、現地研修会を開催する。		馬の生産に関する研究の第一人者である〇〇大学の〇〇教授を招聘し、現在管内で問題となっている生産率の低下について検討を行うと共に、生産率の向上を図れるよう、講習会を開催する。			

注意事項の②に基づいて記入

注意事項の③に基づいて記入

注意事項の①に基づいて記入

注意事項の④に基づいて1/2を乗じた金額を記入
(旅費(参加者)県外)のみ

4. 事業に係る経費(記入例)

費目	第1回			第2回			第3回			助成事業に 要する経費 (円)	助成事業 対象費 (円)	助成金額 (円)	備考
	員数	単価 (円)	金額 (円)	員数	単価 (円)	金額 (円)	員数	単価 (円)	金額 (円)				
馬借上料													
馬輸送費													→
諸謝金 (講師)							1	10,000	20,000	20,000	16,200	16,200	第3回 1名×2時間=2時間
旅費 (講師)							1	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	当団体の旅費規程に基づき算出 (別紙旅費規程を参照)
旅費 (参加者)県内	5	6,000	30,000							30,000	30,000	30,000	当団体の旅費規程に基づき算出 (別紙旅費規程を参照)
会場借上料							1	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	→
資料作成費							32	100	3,200	3,200	3,200	3,200	
アルバイト賃金													旅費の積算については、事業実施主体で旅費規程を定めていない場合は、農業協同組合又は農業協同組合連合会の規程を使用しても構わない
通信運搬費													
消耗品費													
合計			30,000			0			48,200	78,200	74,400	74,000	助成金額の合計については、174,200円の千円未満を切り捨てた金額を記載した。

(記載上の注意事項)

①各回の単価及び金額については、実際にかかる(かかった)経費を記入すること。

②助成事業に要する経費については、各回の金額を合計した額を記入すること。

③助成事業対象費については、馬事普及啓蒙推進事業実施要領の別表2に定める金額の単価を使用し記入すること。(例:馬借上料@10,800円×4頭=43,200円)

注意事項の④に基づいて千円未満を切り捨てた金額を記入